

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（ 奥山小 ）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

『地域とのつながりなどに配慮しながら奥山小学校教育の深化のために協議を進めていく』

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 学校長からの学校教育目標や学校運営の方針については、総じて理解され、その具体的実践も参観会（前期・後期）で確かめ合うことが出来たと捉えている。学校と保護者、地域住民の一体的実践を今後も進めたい。
- 委員や先生との話し合いは時間が足りないほどできるが、なかなか成果を出すのは難しい。
- 学校運営に関して、複式学級や支援学級の難しさを再認識することが出来た。子供の自分からの挨拶の少なさ、自己発信の少なさなどの指摘があった。
- いろんな話をできていると思うが、まだまだ学校運営の基本方針についての理解と熟議が足りていないのかなと感じている。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 地域の子供のために地域全体で手助けをし、各それぞれの役割で支援活動に協力することから今年度は家庭科へのボランティアが実現となった。
- 子供自身が自分から挨拶や、活動ができるよう、地域とのかかわりを増やすため、「スケッチターズ」の案内を作成してくださり、少しずつ活動ができるようになった。学校生活で先生方の負担軽減とともに、子供の成長促進に役立っているかかわりが出来たらよいと思う。
- 学校からの説明により児童の実態がわかり、周りからの支援の方策等について協議することができた。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 奥山小学校としては、従前よりきめ細かな学校教育を発信してきている。協議会としても、奥山の子供を育てる会や奥山小学校行事、地域行事など機会あるごとに情報の発信に努めているが、CSを中心としたよりきめ細かな情報発信に努めたい。
- 各委員それぞれ意見を出し合い地域の発信内容に新たに家庭科ボランティアの活動を取り入れさらに充実したものになった。
- （学校支援について）情報発信の取り組みが始まったので、まだ十分とは言えないが今後とも発信していけるようにしたい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 奥山小学校教育の理解に努め、地域諸団体と一層の結び付きを図り、子供たちの個性を大切に、奥山小学校で学んだことを誇れる奥山の子に育てたい。
- 年1回は現場の先生と熟議をし、課題を聞き、少しでも役に立つ会にできたらと思う。